年間授業計画　新様式

高等学校 令和５年度（２学年用） 教科　　保健体育　　科目 保健

教　科：　保健体育　　科　目：　保健　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　D　組

教科担当者：（A組：辻）　（B組：辻）　（C組：中村）　（D組：太田）

使用教科書：（『新高等保健体育』大修館書店　）

教科　保健体育　　の目標：

【知識及び技能】ライフステージに応じた健康課題を理解する。環境や自他の健康を保持増進するための方法を知る。

【思考力、判断力、表現力等】健康課題を解決するための工夫を考え行動する。健康を支える視点で環境整備等について考える。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり、健康の保持増進ができるようにする。

科目　保健　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ライフステージに応じた健康課題を理解する。環境や自他の健康を保持増進するための方法を知る。	健康課題を解決するための工夫を考え行動したり、健康を支える視点で環境整備等について考えたりできるようにする。	生涯にわたり、健康の保持増進ができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	生涯を通じる健康 【知識及び技能】 生涯の各段階の健康課題について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージに合わせた適切な対応ににについて関心を持ち、説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じる健康について学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。	・指導事項 思春期と健康 性意識の変化と性行動の選択 結婚生活と健康 ・教材 教科書「新高等保健体育」大修館 図説「図説新高等保健」大修館 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 ２次性徴や異性を尊重する態度を理解する。ライフステージにおけるそれぞれの健康課題を理解する。 【思考・判断・表現】 習得した知識をもとに情報を整理し活用することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの適切な対応が重要であることに関心を持ち、学習に意欲的に取り組む。	○	○	○	5
	生涯を通じる健康 【知識及び技能】 生涯の各段階の健康課題について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージに合わせた適切な対応ににについて関心を持ち、説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じる健康について学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。	・指導事項 妊娠・出産と健康 家族計画 加齢と健康 高齢社会に対応した取り組み ・教材 教科書「新高等保健体育」大修館 図説「図説新高等保健」大修館 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 受精、妊娠、出産と年齢や生活習慣との関わりを理解する。加齢による心身の機能や形態の変化を知り、自己管理や定期的な健康診断が重要であることを理解する。 【思考・判断・表現】 習得した知識をもとに情報を整理し活用することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの適切な対応が重要であることに関心を持ち、学習に意欲的に取り組む。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2学期	生涯を通じる健康 【知識及び技能】 生涯の各段階の健康課題について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージに合わせた適切な対応ににについて関心を持ち、説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じる健康について学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。	・指導事項 働くことと健康 労働災害の防止 働く人の健康づくり 環境汚染と健康 ・教材 教科書「新高等保健体育」大修館 図説「図説新高等保健」大修館 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 労働環境に起因する傷害や職業病などを知り、適切な健康・安全管理を理解し、実行できるようにする。 【思考・判断・表現】 習得した知識をもとに情報を整理し活用することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの適切な対応が重要であることに関心を持ち、学習に意欲的に取り組む。	○	○	○	6
	健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 環境汚染、健康被害について理解を深め、安全な環境や食品を確保するための方法や活動を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 課題を発見し、それらを説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 健康を支える環境づくりについて学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。	・指導事項 健康被害を防ぐ環境対策 環境衛生に関わる活動 食品の安全性 ・教材 教科書「新高等保健体育」大修館 図説「図説新高等保健」大修館 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 環境汚染の防止、改善の対策を理解する。食品の安全性を確保することが健康の保持増進に重要であること理解する。 【思考・判断・表現】 習得した知識をもとに情報を整理し活用することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの適切な対応が重要であることに関心を持ち、学習に意欲的に取り組む。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3学期	健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 環境汚染、健康被害について理解を深め、安全な環境や食品を確保するための方法や活動を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 課題を発見し、それらを説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 健康を支える環境づくりについて学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。	・指導事項 保健制度・医療制度とその活用 医薬品の制度 さまざまな保健活動・対策 社会環境づくり ・教材 教科書「新高等保健体育」大修館 図説「図説新高等保健」大修館	【知識・技能】 制度や地域の専門機関を適切に利用する重要性を理解し、その活用に関わる方法を習得する。ヘルスプロモーションの考え方を生かした環境づくりが重要であることを理解する。 【思考・判断・表現】 習得した知識をもとに情報を整理し活用することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの適切な対応が重要であることに関心を持ち、学習に意欲的に取り組む。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計 35